

三方よしの家

～森も、家族も、職人も～



「三方よしの家づくりがしたかったんです」と語るご主人。

“三方よし”とは、売り手よし・買い手よし・世間よしの3つのよしを示す近江商人の心意気ですが、Y様が目指した家づくりの先には、“信州の森”や“職人さん”がより良く発展していくために、とのはっきりとした願いがありました。

家族はもとより世間にも胸を張って「よい家づくりをした」と言える、そんなY様邸を訪ねます。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.76



竣工から3か月。
お住まいになっていかがですか？



ご主人 上田展示場の落ち着いた雰囲気が気に入って、同じような吹き抜けのないリビングを希望しました。かといって閉鎖的にならないよう、階段とからめた北の吹抜けで抜け感もあります。南に田園が広がる土地なので、**フルオープンサッシもカーテンも開放して過ごしています**。風通しもバッチリですよ。



奥様 ひと夏を過ごしましたが、エアバスの効果に大満足！工房信州の家に住む友人宅に夏に伺ったことがあるので良さは知っていましたが、**上田でも真夏もエアコンなしで過ごせました**。昼間だけ扇風機を回したり、よしずを立てかけたりといった工夫で十分。次は冬の暮らしが楽しみです。



営業
石原由貴

信州らしい風景を眺めて生活したい、とのご希望に沿った土地探しをしました。田園風景はどのお部屋からも観ることができる眺望を活かした間取りになりました。



キッチン背面収納は国産ヒノキを使い、香りも手触りも楽しめる。「収納しておいたタンブラーを持って出かけたなら、ヒノキの香りがして驚きました」と奥様。



通り土間をはさんだ和室は、将来のご両親との同居を見据えた設計。軽やかなファミリースペースとは趣向を変え、旅館のような趣ある空間に。



工房信州で家を建てる、
その決め手は何でしたか？



奥様 私はシンプルに、展示場に入ったときの感覚ですね。塗り壁の質感や、木の香り、**とにかく空気感が抜群に良かった**。他の住宅展示場とは明らかに違いました。



ご主人 いちばんは地域材を使っていること、特に松を積極的に使っている点に惹かれました。松は本来、建築材として最高だと聞きますが、曲りがあるから扱いが難しく現代では敬遠されがち。効率が優先されがちな今、安易に新建材を使うのではなく**敢えて手のかかる地域材を使う**ことはとても意味のあることだと思いました。



無垢材を使うほかの住宅会社
さんとも迷われたと伺いました。



ご主人 そうですね。建物自体は甲乙つけがたかったのですが、決め手はフォレストの会社の取り組みでしょうか。「社員大育成」に象徴されるように、**長期的な視点でモノづくりを考えている会社**だと思いました。職人を育てていかなければ、技は消滅し専門性はなくなり、お客さんのモノへの愛着も育たなくなります。私は家に限らず「いいものを長く」という考えを持っており、そのためには**“三方よし”の家づくりが必要だ**と思っていました。フォレストなら、家族はもちろん、**職人さんのためにも森のためにもなる家づくりができる**と思ったんです。



奥様 遠方に住む両親を招いたところ、気に入って「いい家を建てたね」と言ってくれて。自分たちのエゴではなく、**周りの人にも喜んでもらえる**こと、嬉しいですね。

玄関から続く通り土間は人が集う場。住まいの中心で、奥のキッチンとも会話ができる。今後は土間にテーブルを置いて、おもてなしの空間として発展させていこう。



Focus on the Owner!!

ご主人は以前仕事で森林整備に携わり、松くい虫の被害から松林を保全する活動をされたそう。特にマツタケの産地でもある上田市は赤松が多い。選木ツアーで、信州の森の様子を「妻に見てもらえてよかった」と話されていました。

